会　　議　　録

<table>
<tr><td colspan="2">会　議　の　名　称</td><td colspan="4">令和元年度　第２回小川町地域公共交通活性化協議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">開　催　日　時</td><td colspan="4">令和元年１２月２５日（水）
開会時刻　午前１０時００分　　閉会時刻　午前１１時３０分</td></tr>
<tr><td colspan="2">開　催　場　所</td><td colspan="4">リリックおがわ　２階会議室</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="9">出　　席　　者</td><td>役職名</td><td>氏名</td><td>役職名</td><td>氏名</td></tr>
<tr><td>会長</td><td>尾崎　晴男</td><td>副会長</td><td>高窪　剛輔</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>岡安　和幸</td><td>委員</td><td>根岸　甚高</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>大山　博</td><td>委員</td><td>小熊　和久</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>田端　健二</td><td>委員</td><td>赤羽　隆直</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>山口　勝士</td><td>委員</td><td>松岡　良治</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>海野　四郎</td><td>委員</td><td>小川　新一</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>安野　育男</td><td>委員</td><td>石川　勝</td></tr>
<tr><td colspan="2">会　議　の　議　題</td><td colspan="4">（１）デマンドタクシー利用者アンケート調査　実施報告
（２）デマンドタクシー運行形態の見直しの方向性</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議の公開又は非公開の別</td><td colspan="4">公開</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議の非公開の理由</td><td colspan="4">－</td></tr>
<tr><td colspan="2">傍　聴　人　の　数</td><td colspan="4">９名</td></tr>
<tr><td colspan="2">発　言　の　内　容</td><td colspan="4">別紙「発言の要旨」のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">会　議　資　料</td><td colspan="4">別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">事　　務　　局</td><td colspan="4">都市政策課 都市政策担当</td></tr>
<tr><td rowspan="2">議事の確定</td><td>確定年月日</td><td colspan="4">令和２年　１月　３１　日</td></tr>
<tr><td>記名
押印</td><td colspan="4">役職名
会長　　尾崎　晴男　　㊞</td></tr>
</table>

発言者	発言の要旨
事務局	**(1)　デマンドタクシー利用者アンケート調査　実施報告**
尾崎会長	デマンドタクシーの本格運行から 2 年目の途中ではあるが、より良いものにしていくための見直しである。アンケート結果を事務局から丁寧に報告いただいたが、日々運行していく上でのご苦労や事業者の立場から改善が必要な点などをお聞かせいただきたいと思う。見直しの方向性の議論に進む前に、田端委員から報告をお願いしたい。
田端委員	本格運行から 1 年 8 か月が経過し、様々な課題が出てきている。一番の課題は利用者を待たせてしまうことである。平日の午前中は高齢者の利用が多く、日赤病院などの通院にデマンドタクシーを利用する方が多くいる。日赤病院は、診察の予約時間があるため影響があり、丁寧に説明して納得いただいている。今では、急いでいる方は一般のタクシーを予約する利用者が増えている。電話が繋がりにくい状況を改善するために 7 月からオペレーターを増員する対応をしている。電話受付の所要時間は、通常 10 秒もかからないが、70・80 歳代の利用者が多く、どうしても自分の登録番号を忘れてしまう。電話をする時は、必ず手元に登録者証か、そのコピーを置いてほしい。行き先を伝えるのに言葉が出てこないという方も多い。通話時間を短縮できるようにタクシー会社からも協力をお願いしたい。 次に、ドライバーに聞き取りした意見を述べる。1 点目は、高齢者が美容院や理髪店に行く機会に利用の要望があるので乗降ポイントに追加しても良いのではないか。2 点目は、東小川にはコンビニはあるもののスーパーマーケットがないため、配慮が必要ではないか。3 点目は、運賃に関してで、実証実験中は 500 円・1,000 円・1,500 円の 3 段階だったものを本格運行時に 500 円均一にしたが、町の端から端まで行くと 4,000～5,000 円近くかかるケースもある中で、500 円で良いのかという意見があった。寄居町の同業者からも改善の余地があるのではないかという意見があった。 デマンドタクシーの運用をしてみて、会社としては移動手段がない方のために努力してきたつもりだが、一つお願いがある。現在、小川町のデマンドタクシーは年末年始と祝日を休みとして月曜日から日曜日の 8 時半から夕方 5 時まで運行しているが、週に一度の休みを確保した上で運用したい。高齢な運転手も多く、体への負担がかかり、1 週間休みなくデマンドタクシーを運用していると疲弊してくる。日曜日の運行をするために運転手の確保が必要な上、事務処理も多くなる。事務処理は、当初 1 日 7 時間かかっていたものが 3 時間程度で終わるようになってきているが、働き方の問題も含めて考える必要がある。他地域でのデマンドタクシーの運行状況を調べたところ、小川町と同じように毎日運行しているのは行田市だが、75 歳以上という年齢制限がある。年末年始を含め、日曜日を休みとして運用している地

発言者	発言の要旨
	域が非常に多い。
事務局	**（2）デマンドタクシー運行形態の見直しの方向性**
海野委員	老人クラブ連合会より高齢者の立場からの意見を述べたい。働き方の観点から改善が必要なことは十分理解できるが、今後免許返納者が増えることを考えると移動手段はデマンドタクシーが頼りになるため、現状のサービスを維持してもらいたい。
事務局	すべての方を対象に公共交通を考えるべきだという認識をもっている。高齢者の利便性を考え、公共交通である鉄道・バス・タクシーを、都市政策課だけでなく関連部署と協力しながら町全体で進めている。その中で、労働者の健康管理への配慮は非常に重要である。また、公共交通空白地域の住民が、デマンドタクシーを頼りにしていることも把握している。
海野委員	鉄道やバスが徒歩圏になく、利用できない場所もあるので、デマンドタクシーの維持を要望したい。
事務局	公共交通空白地域を網羅できているのがデマンドタクシーだと思うので、引き続き維持していきたい。
山口委員	分科会の議論では、利用受付の電話がつながりにくい等の声が聞こえてきていたが、アンケート結果は安心できるものだったと判断した。様々な課題があるものの、デマンドタクシーのサービス継続という点で意見が一致している。お金の観点から見直しの判断をすることはないと町から意見があったが、乗務員の働き方の観点が一番の負担だと考えた。分科会で挙がった意見の中においては、曜日によって利用料金を変える案も出たので、引き続き検討が必要だと思う。
松岡委員	事務処理は簡素化して運行事業者の負担を減らしてもらいたい。一般のタクシーの利用環境も問題提起したい。同じ事業者が運行しており、両方の継続性が必要である。
根岸委員	県内で人口の多い市でも、タクシー乗務員の高齢者問題が出ている。政府の会議議事録を見ても同様の議論がされている。デマンドタクシーの利便性は大事だが、運行事業者に過度な負担がかかり、事故が起こらないように考えていく必要がある。
尾崎委員	デマンドタクシーの細かな内容改善や、幅広い公共交通全般をより良いものにする取組も継続的に必要であるが、今回見直す内容としては、事務局案が最善策であ

発言者	発言の要旨
	るように思われるので、この場で協議結果の賛否を伺っていきたい。令和 2 年度 4 月 1 日からの運行形態として、事務局案を承認される方は挙手いただきたい。 **⇒挙手多数で承認（12 人／13 人）** 以　上